

第11回全日本少年少女空手道選手権大会出場 颯志館空手道スポ少桜道場 高橋優瞳



東京武道館で開かれた全日本少年少女空手道選手権大会小学2年生女子形かたの部へ出場し、ベスト32に入る好成績を修めた。4月の県大会で準優勝し、2年連続の全国大会だった。「緊張しませんでした。3回戦では手首が曲がってしまい、勝てなくて残念でした」と、結果を冷静に振り返る高橋優瞳さん(第一小学校2年)。

指導する曾根政広師範は、「彼女は集中力が違います。練習量も人一倍多い。そして、何より本人の空手が好きという気持ちが成績に表れています。しかし、全国大会出場は、彼女ひとりで成したものではありません。応援してくれた地域の皆さん、保護者、同じ道場に通う仲間のおかげです」と話す。周囲の人たちに支えられて空手に打ち込む優瞳さん。「来年こそは全国大会で優勝したい」と気持ちも新たに、稽古に励む。



県大会は、個人総合6位。2年連続で出場した東海大会では、個人総合8位。惜しくも全国大会出場は逃したものの見事な活躍だった。2歳から市内の体操教室に通い始め、現在、牧之原市の「アトム体操クラブ」に所属する小田凧紗さん。週6日、平日は午後5時半〜9時まで、土・日は午前



9時〜午後1時まで吉田高校体育館でハードな練習をこなしている。「体操は日課。生活の一部になっています。得意な種目は跳馬です。平均台や段違い平行棒などは、競技中に怖いと思うときもあるけど、着地がピタッと決まったときは本当に気持ちいい」と話す。父親の尚人さんは、「これからもチャレンジし続けてほしい」と将来に期待する。中学校生活最後となる来年こそ全国大会出場の切符を手に最高の笑顔を見せてほしい。



Nagisa oda

第33回東海中学校総合体育大会出場 御前崎中学校 小田凧紗